

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦舞
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	4企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃぼつくすよろづや		団体ウェブサイトURL
	株式会社BOX4628		http://box4628.jp/
代表者職・氏名	代表取締役・滝沢直也		
制作団体所在地	〒 171-0014	最寄り駅(バス停)	東京メトロ 要町
	東京都豊島区池袋3-1-12-702		
電話番号	03-6907-0569		
ふりがな 公演団体名	おきなわでんとうくみおどりしーのかい		団体ウェブサイトURL
	沖縄伝統組踊「子の会」		https://www.nt-okinawa.or.jp/kumiodori-
代表者職・氏名	会長・仲嶺良盛		
公演団体所在地	〒 902-0072	最寄り駅(バス停)	
	沖縄県那覇市真地345ティダコートB-102		
制作団体 設立年月	2015年 4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役:滝沢直也 取締役:榎本かおり、岡本雅人 顧問・相談役:織田紘二 相談役:川満香多・大城建大郎(実演家)	役員3名 監査役1名 事務局員5名 ※当団体の活動に賛同し琉球芸能に携わる実演家および関係者、舞台スタッフ	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	榎本かおり
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	税理士 大塚康正
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	box4628_nk@yahoo.co.jp		

<p>制作団体沿革</p>	<p>2013年 制作会社BOX4628として発足、現住所に所在地を置く 2015年 法人格を取得、株式会社BOX4628 2015年 日本財団主催による「こっぽん文楽」六本木公演のアシスタントプロデューサーを務める 2017年 「平成29年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 2018年 「平成30年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 2019年 「令和元年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 2020年 「令和2年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 2021年 「令和3年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択(2団体) 沖縄伝統組踊「子の会」、一般社団法人善竹狂言事務所 2022年 「令和4年度文化芸術による子供育成推進事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>2013年 組踊鑑賞会「執心鐘入」3校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」6校、 「落語教室」6校 2014年 組踊鑑賞会「執心鐘入」17校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」4校 「落語教室」10校 2015年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」5校 「落語教室」10校 2016年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」3校 2017年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」35校 2018年 組踊鑑賞会「執心鐘入」15校、「狂言教室」27校 2019年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10校、「狂言教室」16校 2020年 組踊鑑賞会「執心鐘入」8校、「狂言教室」10校</p>		
<p>特別支援学校等 における公演実績</p>	<p>2016年 「組踊鑑賞会」 1校</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
<p>※公開資料有の場合URL</p>		<p>第1部</p>	<p>https://youtu.be/4sLeRvE8kVk</p>
<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>		<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 沖縄伝統組踊「子の会」】

対象	小学生(低学年)	○			
	小学生(中学年)	○			
	小学生(高学年)	○			
	中学生	○			
企画名	おきなわ伝統芸能『琉球舞踊』と『組踊』				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【プログラム構成】</p> <p>①琉球舞踊「四つ竹」（踊りこはでさ節）種類：古典女踊り 振付・監修：志田房子 国指定重要無形文化財「琉球舞踊立方」（各個認定）人間国宝、琉球舞踊重踊流宗家</p> <p>②ごあいさつ、沖縄県の紹介、「四つ竹」の作品紹介とあらすじのお話。</p> <p>③●紅型塗り絵の紹介 ●おきなわことばクイズ、地謡の楽器紹介・沖縄音楽ミニコンサート</p> <p>④●組踊「万歳敵討」代表児童・生徒による演舞発表</p> <p>⑤組踊「万歳敵討」の作品紹介とあらすじのお話</p> <p>⑥組踊「万歳敵討」種類：仇討物／作者：田里朝直／初演：1756年尚穆王冊封の宴で上演 監修：宮城能鳳 国指定重要無形文化財「組踊立方」（各個認定）人間国宝</p> <p>※●は、児童・生徒の共演、参加又は体験 ※別添：本公演演目参照</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>				
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否	該当なし		該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名		許諾確認状況	
演目概要	<p>○琉球舞踊「四つ竹」：竹で作られたカスタンネットのような鳴り物、四つ竹を両手に持ち、それを「踊りこはでさ節」に乗せてカチカチと打ち鳴らしながら踊ります。衣装は艶やかな紅型衣装を身にまとい、頭に花笠を被り、優雅に華やかに踊ります。</p> <p>○組踊「万歳敵討」：高平良御鎖は、名馬を手に入れられなかったことを恨み、大謝名の比屋を闇討ちしました。大謝名の比屋の息子である謝名の子と慶雲は敵を討つ機会を狙っていました。2人は旅芸人に姿を変えて、浜下りの場に近づいて高平良御鎖を追い詰め、見事父の敵を討ち果たしました。終盤の緊迫感みなぎる仇討ち場面が見どころです。</p>				
演目選択理由	<p>沖縄の代表的な伝統芸能である、琉球舞踊と組踊は、芸術上特に価値が高く、地方的または流派の特色が顕著である、そうしたことを、強く感じて頂ける演目と致しました。</p> <p>○「四つ竹」は、古典女踊りの中でも名作であります。足の運び、構え、腰の使い方、視線の動きや顔の向け方、手や指の所作などに独自の技法、載み手、抱き手などがあります。様式美の見どころが多く芸術性の高い演目です。</p> <p>○「万歳敵討」は、沖縄伝統芸能の3要素「琉球古典語」「琉球古典音楽」「琉球古典舞踊」が入った演目の1つです。また、口説、万歳かふす節、おほんしゃり節、さいする節を抜粋した、琉球舞踊「高平良万歳」としても作品があります。琉球舞踊、組踊どちらの伴奏も、地謡と言われる琉球古典音楽演奏家が行います。こうした教育的価値の含まれる演目を、分かりやすく興味を持って鑑賞できるように、実演とレクチャーを通して、お伝えしたいと考えます。</p>				
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	<p>③●「紅型塗り絵の紹介」ワークショップでお渡しした塗り絵のシートを頂戴して、会場の舞台装飾に使います。</p> <p>③●「おきなわことばクイズ」案内役の進行で、沖縄の方言を二択のクイズ形式で行います。鑑賞者はその場で参加できます。</p> <p>④●組踊「万歳敵討」の共演となります。謝名の子と慶雲が、敵相手の高平良御鎖を探す道中から、出会うまでのシーンとなります。児童・生徒は衣裳を身につけ、足袋を履き、小道具の棒杖を持って、道行きの歩みと、唱えをします。</p>				
出演者	<p>沖縄伝統組踊「子の会」会員、または会OB・賛助</p> <p>仲嶺良盛 棚原健太 大城建太郎 徳田泰樹 伊藝武士 比嘉大志 知花令磨 山城峻称 高井賢太郎 澤岷安樹 兼箇段翔 町田倫士 下地心一郎 岡本凌</p> <p>川満香多 玉城和樹 池間北斗 入嵩西論 喜納史一 大城貴幸 玉城匠</p>				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者： 19 名 スタッフ： 7 名 合 計： 26 名	運搬		積載量： 2 t 車 長： 4.7 m 台 数： 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9時30分前後	9時30分～11時30分	13時30分～15時	10分	15時～16時	16時
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。					

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	計 105日
	10日	15日	15日	15日	15日	
	11月	12月	1月	計	105日	
	10日	10日	15日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	20名程度
		鑑賞人数目安	300名程度



(上の写真)
ステージ上の正面に、紅型パネルを立てます。
フロアの右側に演奏場所をつくります。
フロアの左側にスクリーンを立てます。
ステージ上の使用スペース 横5.4m 奥行2.7m

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

【公演団体名 沖縄伝統組踊「子の会」】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	100名程度
ワークショップ実施形態及び内容	<p>◆ワークショップをスタートする前の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四つ竹を、40個と花笠を、準備しておきます（琉球舞踊「四つ竹」で使用する小道具です） ・獅子頭、馬頭、仕込み刀を、準備しておきます（組踊「万歳敵討」で使用する小道具です） ・ホワイトボード(黒板)に資料などテキストを付けておきます。 ・指導者が、琉装に着替えて、児童・生徒をお迎えます。 <p>●1単位目(1コマ) 時間40～45分(①～⑦)</p> <p>①ご挨拶と、本事業についてのお話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が名前と役割などを紹介します。 ・本事業の紹介と、ワークショップで学んでいただくことを、プログラム順に紹介します。 <p>②琉球舞踊の歴史と成立について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琉球国で、冊封使を歓待するために創作された古典舞踊について、お話します。 ・古典舞踊の区分、「老人踊」「若衆踊」「女踊」「二才踊」についてのお話しと実演です。 ・明治以降に創作された雑踊についてのお話しと実演です。 <p>③組踊の歴史と成立について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琉球国で、冊封使を歓待するために創作された組踊について、お話します ・組踊の3要素「唱え」「音楽」「踊り」についての実演と、お話しをします。 ・組踊の作品の内容についてお話します。 <p>④琉球古典音楽の歴史と成立と、楽器の紹介。三線について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三線の伝来や歴史をお話ししながら、クイズ形式で三線を紹介します。 <p>⑤琉球舞踊と組踊の体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琉球舞踊の所作、拝み手、こねり手、返し手を、体験してもらいます。 ・歩み(すり足)を体験してもらいます。 ・三線の演奏に合わせて、四つ竹を打ちながら、歩みを体験してもらいます。 ・演者の役柄による座り方、歩み、唱えを、体験してもらいます。 <p>⑥ワークショップを振り返って、感想や質問を聞かせて下さい</p> <p>◆休憩10分間</p> <p>●2単位目(1コマ) 時間40～45分(⑦～⑧)</p> <p>⑦代表児童・生徒の皆さんが、組踊「万歳敵討」の練習です</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 唱えを練習します。 2 歩みと所作を練習します。 3 最後に通して練習します <p>⑧最後に、ワークショップを振り返って、感想を聞かせてください</p>		
ワークショップのねらい	<p>地方的特色が顕著な、沖縄県の代表的な伝統芸能、琉球舞踊と組踊を、児童・生徒が初めて識る貴重な機会となるでしょう。このワークショップでのレクチャーや体験を通して、楽しみながら琉球舞踊に親しんでもらいたいと考えます。②③琉球舞踊と組踊の歴史と成立では、どちらも芸術上特に価値の高いものであることを、お伝えした上で、琉球舞踊と組踊を要約して実演いたします④琉球古典音楽の歴史と成立、楽器の紹介では、三線の歴史や伝来、構造についても知って頂きます②③④を通して、初めて琉球舞踊と組踊を鑑賞する為の手がかりや、鑑賞のポイントを知ることが出来るのではと考えます⑤琉球舞踊の体験では、古典舞踊と雑踊の多様な所作を体験することで、所作などに独特の技法があることを知ることが出来ます。また組踊の体験では、唱えの要素が加わり、独自の抑揚で唱える高度な技術が必要です。こうした厳しい身体訓練と技術の習得、多くの修練と経験が必要であることをお伝えできます。⑥振り返りでは、児童・生徒さんが反芻する時間を作ります。ワークショップで見、聞いて、触れて、感じて、話したことなどを思い出してもらうことで、感性を育むことに繋がると思うのです⑦代表児童・生徒の、組踊「万歳敵討」の練習では、本公演への興味関心を促すと共に、自主性と主体性を育むことに繋がると考えます。このような地方的特色の顕著なワークショップを行うことで、文化的な地域格差の解消促進に繋がると思うのです。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>・本公演までに、紅型デザイン塗り絵の色を塗りましょう。本公演の際に舞台美術として、会場に装飾致します。(授業時間などに差し支えない程度で取り組んでみてください)</p> <p>琉球舞踊について、国立劇場おきなわのホームページから、以下のサイトをご紹介します。 https://www.nt-okinawa.or.jp/traditional-okinawan-performing-arts/ja/ryukyudance.html</p> <p>https://www.nt-okinawa.or.jp/okinawan-traditional-performing-arts/ryukyuan-dance</p> <p>組踊について、国立劇場おきなわのホームページから、以下のサイトをご紹介します。 https://www.nt-okinawa.or.jp/traditional-okinawan-performing-arts/ja/kumiodori.html</p> <p>https://www.nt-okinawa.or.jp/okinawan-traditional-performing-arts/kumiodori</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 沖縄伝統組踊「子の会」】

<p style="text-align: center;">本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>世界は、人、物、情報、経済のグローバル化が加速し進展しています。またITの急激な進歩、普及により、先進国はもとより開発途上国も大きな変化が起きている時代です。そうしたことでグローバル化によるメリットや課題も多くあります。</p> <p>本事業の実施対象の、児童・生徒、教職員及び保護者の周辺には、多くの社会問題また教育問題があります。社会問題には、貧困、少子高齢化、人材・後継者不足、介護問題、ヤングケアラー、地域格差などがあります。教育問題には、いじめ、引きこもり、教育格差、学力低下、教員不足などがあります。</p> <p>こうした時代に、私共は本事業に於いて、使命感、責任感を持ち、教育現場における感度を共有し、広い視野を持って取り組むことが大変重要だと考えます。</p> <p>実施対象の、児童・生徒、教職員及び保護者は、日本の伝統芸能である琉球舞踊と組踊を、初めて観て、聞いて、体験する機会となります。それは重要なことと思うのです。なぜなら本事業を通して、文化的な地域格差の解消を促進に繋がると考えます。</p> <p>人生に於いて、二度と観ることが無いかもしれません。</p> <p>そこで重要なことは、公演団体、制作団体がワークショップ、本公演を、どのようなものと考え、取り組むかです。それは一人でも多くの児童・生徒さん、学校関係者、保護者や近隣の皆さんに親しみを持って、寄り添い、琉球舞踊と組踊の素晴らしさ、楽しさ、魅力をお届けすると共に、日本の芸能に於いて、芸術上特に価値が高いものであることを、お伝えすることと考えます。そうした取り組みが、豊かな感性を育み、芸術鑑賞能力の向上、また未来の実演家の育成にも繋がると思うのです。</p> <p>ワークショップでは、制作団体と公演団体が、充実した時間となるよう、工夫してプログラムをお送りします。本公演へ繋げる事前学習の場とし、本公演を鑑賞する為の手がかりや、ポイントをお伝えします。また実技指導や共演の練習では、コミュニケーションを積極的にはかり、身近に琉球舞踊と組踊を感じていただけるよう取り組みます。</p> <p>本公演では、実演家に於いては、日々努力研鑽した成果を表現すると共に、芸能への姿勢をあらためて正し、芸格が向上するよう取り組むべきであると思うのです。</p> <p>また、公演団体は必ず事前リハーサルの時間を設けます。そこに監修者※と私共、制作団体が立ち会い、事業に取り組む姿勢を、共有し再確認致します。</p> <p>日本独自の伝統芸能を鑑賞し体験・参加することで、日本人のアイデンティティの形成と、教養基盤構築の一助に繋がりたいとも考えます。</p> <p>私共、制作団体は、教育現場における環境や状況を考慮し、教職員の方々と共有させていただき、共に考えて取り組ませていただきます。謙虚に真摯な姿勢で沖縄伝統組踊「子の会」、琉球舞踊「重踊流」と共に、株式会社BOX4628は取り組ませて頂きたいと存じます。</p> <p>※琉球舞踊 振付・監修:志田房子 国指定重要無形文化財「琉球舞踊立方」(各個認定)人間国宝</p> <p>※組踊 監修:宮城能鳳 国指定重要無形文化財「組踊立方」(各個認定)人間国宝</p>
	<p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催校が決まりましたら 制作団体、公演団体の情報や、公演内容を早く理解していただくために、資料などをメールで送らせて頂きます。教員内、学校内の周知にご利用下さい。 ・実施校とのワークショップ、本公演までの事前の推進業務にあたり、私共との連絡方法として、固定電話、携帯電話、メールなどで速やかに対応致します。 ・本事業の実施が初めての学校には、本事業のご説明、ご案内なども丁寧に行います。また、ワークショップ、本公演に至るまでのスケジュールについても詳しくご案内いたします。 ・ワークショップから本公演開催日までの、事前学習として、琉球舞踊と組踊に関する情報の掲載されている、公共のホームページなどもご案内いたします。 <p>以上が、本事業に対する取り組み姿勢、および効果的かつ円滑に実施するための工夫でございます。何卒よろしくご願ひ申し上げます。</p>

リンク先 No.2

【公演団体名 沖縄伝統組踊「子の会」】

本公演演目

本公演プログラム

よつだけ
①琉球舞踊「四つ竹」



②ごあいさつ
沖縄県の紹介
「四つ竹」の作品紹介と
あらすじのお話



③紅型塗絵の紹介
おきなわことばクイズ
地謡の楽器紹介
沖縄音楽ミニコンサート



まんざいてきうち
④組踊『万歳敵討』
代表児童・生徒による演舞発表

⑤組踊「万歳敵討」の作品紹介と
あらすじのお話

⑥組踊「万歳敵討」



⑦カーテンコール
感想発表や
質問コーナー

